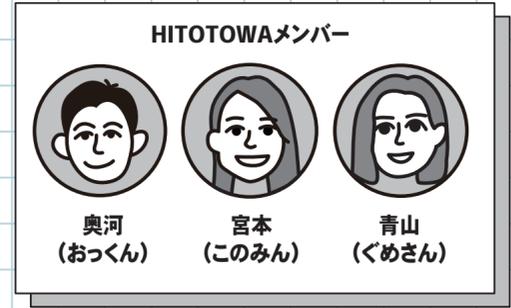


# 2016-2023 まちのね浜甲子園のあゆみ

2016年の設立からまちのね浜甲子園をつくってきたHITOTOWAのメンバーに設立当時の思いや、様々なイベントを振り返っていただきました。



9月 一般社団法人 まちのね浜甲子園 設立

2016 4月 HAMACO:LIVING オープン

**<Q.HAMACO:LIVINGがオープンした当初の思い出は？>**  
 最初の1ヶ月は開けるだけでは誰も来なかったので、まずは利用者を増やすところから始めました。通る人みんなに挨拶し、とにかくお話する毎日。毎週イベントを打ち出し、乗客や準備などでヘトヘトになりながらも少しずつ顔見知りの住民さんが増えていきました。その中でも子育て座談会をゴールデンウィークに開催し参加者の方々が盛り上がり、今も子育ておしゃべり会として続いていますね。

私が初めて来た時は、すでに数家族の参加があり「すでにコミュニティができつつあるんだ」と感じました。裏ではスタッフがてんやわんやだったなんて驚きです。

2018 2月 まちパン開催

甲子園周辺のパン屋さんを知ろう！の目的でまちパンを開催！

2018 8月 ウェルカムパーティー開催

記念すべき第一回目！ここで多くのご家族と知り合うことができました。

2019 5月 まちピカ大作戦スタート

今も行われている清掃活動。当時参加していた子どもたちは小学生になり、子どもだけでも参加できる様になりました！定期的な清掃活動のおかげで、プールパールはいつもピカピカです。

2019 10月 第1回まちのねピクニック OSAMPO BASEオープン

OSAMPO BASEオープンに合わせて、第1回まちのねピクニックを開催しました。地域のみなさんと楽しめる、最大のイベントになればと開催し、今も大人気のイベントとなっています。

2020 4月 新型コロナウイルス 感染拡大による休館

世界中のライフスタイルが変わってしまった、新型コロナウイルス、HAMACO:LIVINGも多くの人が利用することから休館しました。しかしその間も何かできないかと在宅でスタッフ一同考え、物語ボックスの作家さんと不足しているマスクをプレゼントしました。

**<Q.まちのねの事業で特に思い出がある事はなんですか？>**  
 ちいさな物語BOX(ハンドメイド販売)を導入したことです。当初は置いてもらう人を探すのに必死で自分の作った作品を置いてみたり、置いてくれそうな人に声をかけたり...でも設置したことによって、会話のきっかけになり、来館にもつながりました。今となっては待ちが出るほどの人気で嬉しい限りです。

当初団地カレッジや、はまこうガーデン(農園)は力を入れて計画されていましたが、この地域の必要性を再度考え直し、OSAMPO BASEやHAMACO:CLASSのオープンにシフトチェンジしましたね。

2020 7月 はまこー情報局 ～どこいこ？保育所/幼稚園

こんなイベントあったらいいな～の声で生まれた、はまこー情報局。この地域にお住まいの方から実際に声が聞ける大人気のイベントです。

2021 4月 まちのね認定サポーター MACHINONE:Bit活動開始

気づけばまちのね浜甲子園はたくさんの方々にいつも支えてくださっています。その方が何かネーミングがあればと思い、MACHINONE:Bit(ビット=人)と呼ぶことにしました。今ではかけがえのないメンバーです。

**<Q.今後一緒に活動して下さる住民さんへ>**  
 大きいイベントでコミュニティが大きくなると思っていた面があったけど、月日が流れるとともに、小さいコミュニティをたくさん作ることで、結果的につながりが豊かな地域になるということを感じました。例えば、多国籍交流・産前交流(産後も繋がる長期コミュニティになる)など、続けなければいけない事が、必ずしも大切とは限らない。その時に必要なものを柔軟に考え、話し合いを重ね最善の方法を生み出して欲しいと思います。

当初は地域の既存団体と関わるイメージが湧いていなくて、どうしても企業と一緒にやっていくイメージがありました。今は地域団体との関係性ができ、まちのね浜甲子園が広く認知され、既存の団体との関わりが、いかに大切か学びました。まちのね浜甲子園には、いい意味でコアメンバーを固定化しない柔軟性を持った組織でいてほしいですね。

コロナ禍でのコミュニティづくりには苦戦しましたが、周りの状況を理解し進めることが大切だと知りました。話し合いや何気ない会話を大切にしている皆さんだからこそ、協力し合える関係が育めたと感じています。助け合いつつ、無理なく活動を続けてほしいと思います。

2021 11月 まちスポ開催

コロナ禍で休校や在宅ワーク、お出かけすら安心してできない日々が続く中、屋外で体を少しでも動かして楽しめたらと、小さい運動会を企画。久しぶりに青空の下で深呼吸した気がしました。やっぱりみんなで集まれるって幸せだな～

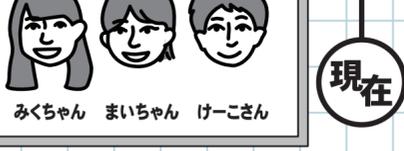
2022 10月 みまもりタイガー巡回開始

浜甲トライあんぐるとして連携している周辺施設の送迎車にオリジナルステッカーを貼り、巡回しながらの見守り活動を開始しました。さあ、今日は何台のみまもりタイガーステッカーがついた送迎車に出会えるかな？

**<Q.今後一緒に活動して下さる住民さんへ>**  
 最初は「まちのね浜甲子園」の活動についていかに住民さんに興味を持ってもらえるかが課題でしたが、現在展開している活動の内容が住民さん主体で行えているところを見ると、「まちのね浜甲子園」が地域に根差した存在となってきたと感じ、これまでの活動が無駄ではなかったと、これまでの活動に携わってきてもらった方々に感謝したいです。

「あたたかな繋がり、優しさがあるまちをつくる」

私たちが待ってます！お気軽にご利用ください。



現在

**<Q.設立当初の想いを教えてください。>**  
 法人設立時のオープニングイベントの場で、「浜甲子園エリアを更に住みよく笑顔のあふれた街にしていきたい」と宣言したものの、正直何から始めていいのかわからない中、まずはこの街に住まう皆さんにとって必要なことが何かを考えることから始めようと思いました。私個人的には「エリアマネジメント」という言葉に構えてしまった感がありましたが、特に常駐事務局の皆さんが積極的に地元の方々とコミュニケーションを取って頂いたことで、徐々に地域の課題が見えてきて、具体的な活動に展開していくことができたと思っています。

**<Q.印象深かったエピソードはありますか？>**  
 普段は常駐事務局の方々に活動のほとんどをお任せする中で、一度住民代表の方々と緩やかに話そうというイベントの「ゆるよる」に参加し、事務局スタッフと住民さんとが和気あいあいとおしゃべりしつつ、これからの街のあり方について目を輝かせてお話をされている姿を見て「まちのね浜甲子園」がうまく住民の皆さんの中に入り込んでいけると実感でき、とてもうれしく思いました。

**<Q.設立当初から現在に至る変化の中でどう感じましたか？>**



一般社団法人まちのね浜甲子園 代表理事 木村 友啓 (長谷工コーポレーション)